

behind the accomplishments...



大容量送電技術の 確立をめざす

大容量模擬送電線装置

Large-capacity Artificial Transmission
Line Device

-To Establish Large-capacity Power
Transmission

電力需要の増大とともに、電力系統の保護継電装置、制御装置に要求される性能や信頼度は、ますます高度化しつつある。これらの製品の開発に、あるいは製品の試験に使われるのが模擬送電線装置(Artificial Transmission Line)である。

日立製作所国分工場では早くからこの点に着目、大容量模擬送電線装置を設備し、以来今日まで、幾多のすぐれた製品の開発と試験に当たってきたが、最近の電力系統技術の進歩や500kV送電線の出現などに対応するため、新たに最新技術を取り入れ、系統電圧3.3kV、端局数6端局で単相VCBを使用した大容量模擬送電線装置を増設した。写真は本設備を使って搬送継電装置の試験を行っているところである。

実系統を等価した模擬送電線装置で、厳格なテストに合格した製品が、わが国各地で安定な電力の供給に貢献している。
(日立製作所 国分工場)